

スーパースマイル新聞

2021年（令和3年）夏号（vol.107） くしま矯正歯科通信

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 1-21-22 徳山ビル4F

TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878 HP <https://www.kushima-ortho.com>



院内改装のご案内

詳細は未定ですが、2022年2月中旬頃から院内の改装工事を行う予定です。
詳細が分かり次第、掲示板やHP等でご連絡いたします。

スタッフの紹介

初めまして。10月より勤務させていただいております歯科衛生士の歯科衛生士 林 鮎香(はやし あゆか)です。これまで、歯周病治療をメインに3年間、他の歯科医院で勤務しておりました。矯正歯科は初めてで慣れない事が多いですが、多くの患者様に感謝していただける衛生士になれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



院外研修

医療法人白亜会 小室歯科近鉄あべのハルカス診療所に見学をさせていただきました。歯科衛生士と受付の業務、材料や手技などに関して熱心にこちら側からの質問にも応えてくださり、加えて情報交換も出来たことで、当院スタッフ達も大変良い刺激を受けました。



スタッフ便り

矯正と関わって 50 年

(2) 治療方法の発展について

名誉院長 久島文和

50 年前 阪大の矯正の医局に残った頃、全国の各大学の矯正科はそれぞれの医局の伝統に従って様々な治療方法を取っていたようです。

当時矯正科は子どもの患者が大半だったので、口の裏側に太いワイヤーと小さなばねを付けて歯を押す装置（リングルアーチ）、睡眠中 可撤式の装置を入れる方法（FKO）や下顎を押して受け口を治す方法（チンキヤップ）、拡大床装置と呼ぶ取り外しのできる装置などが広く用いられていました。

これらの多くは現在も使っていますが、これらの装置による歯の動きは歯の頭部分を表側や裏側にまた前方や後方に押すものでした。

歯は 3 次元で位置しているので歯の先は動いても歯の根を好ましく動かすことは難しかったのです。



川端先生のHPから引用

高学年の子供や成人にはワイヤーを用いた装置も使っていましたが、ワイヤーを用いたものは、写真のように歯の周囲にバンドを巻き、そこにすべての歯に同じ形のブラケットというものを溶接し、

それをセメントで歯につけ、ワイヤーを複雑にまげて止めていました。

したがって笑うと 007 映画に出てくる悪者のようにキラキラ目立ちましたし、歯も磨きにくく 虫歯、歯周病になることも多くありました。

現在では 歯の表面に直接 それぞれの歯の形に合ったブラケットを付け、ワイヤーも形状記憶合金であるシンプルな形のニッケルチタンワイヤーを用いることにより動く事による痛みも大きく減少しました。



▲ 透明で目立たない

同社のHPより引用

療費に関して書く予定です。

その後 裏側の矯正装置（リングル）やさらには全くつけていることが気づかれない写真のような装置も出てきました。

どの方法も、正確な診断とそれに見合う治療技術が必要なことは言うまでもありません。今回は矯正の治療

しまなみ海道を自転車で

院長 久島和彦

7月の連休日、しまなみ海道をレンタサイクルで広島県尾道駅前から愛媛県今治駅前までの往路約70km（向島、因島、生口島、大三島、伯方島、大島の6つの島を経由）、復路は翌朝、今治港から広島県土生港までフェリーに乗船し、因島港から再び尾道駅前までの道のりを走行してきました。

ロードバイクを生まれて初めて運転しましたが、アルミフレームのため非常に軽量であり、タイヤも極細であったため（おそらく、競輪のタイヤくらい）、下り坂で転倒しないか、タイヤのチェーンがはずれたらどうしようとか、パンクしたらどうしようと内心ヒヤヒヤでした。島から島へは急勾配な橋を渡ります。ギア操作がうまくいかず、上り坂はかなりきつかったです。

帰りは少し足を延ばして、呉市の大和ミュージアムに立ち寄りしました。ケガもなく無事帰ってきました。良い思い出作りになりました。また機会があれば、再度訪れたいと思います。

